ONKYO®

コンパクトディスクプレーヤー

C-7000R

取扱説明書

主な特長

・音楽 CD、MP3/WMA CD* の再生が可能
・New（ニュー） circuit（サーキット） technology（テクノロジー） 搭載
・デジタル / アナログで独立した回路を搭載
・デジタル / アナログで独立した電源回路搭載（アナログ回路にはトロイダルトランスを採用）
・高精度マスタークロック採用
・ダイキャストアルミ製ディスクトレイを採用した静音メカニズム
・トップパネル、フロントパネルおよびサイドパネルに独立した振動対策用アルミパネルを採用
・振動対策のためのサイドパネルマウンティング構造を採用
・新たに正確な信号を作り出し、デジタル信号のゆらぎを排除する PLL（Phase（フェイズ） Locked（ロックド） Loop（ループ））方式ジッタークリーナー搭載
・L/R チャンネルに独立した TI 社製 Burr（バー）-Brown（ブラウン） 192kHz/24bit D/A コンバーター (PCM1792) 搭載
・ピュアアナログモード搭載
・デジタル出力のためのトランスポートモード採用
・AES/EBU デジタル出力対応
・３系統のデジタル出力装備（光、同軸および AES/EBU）
・真鍮製の金メッキ音声端子装備 (極太ケーブルの接続に対応)
・表示部ディマー機能

* ファイナライズが必要です。

テクノロジー

New circuit technology（ニュー サーキット テクノロジー）

デジタル音源の登場によりオーディオで重要な SN 比の数値は飛躍的に向上しました。
しかし、レコードに代表されるアナログ音源などは聴感上の SN においてデジタル音源と比べても決して劣っていないという現実は良く知られています。
一般的に SN 比とは音の出ている時と出ていない時の比であり、音の出ている時に発生するノイズは考慮されておりません。
オンキヨーはこの音の出ている時の SN（動的 SN）に古くから着目し、研究を重ねてきました。そして可聴帯域外ノイズが聞こえるメカニズムにより、音楽再生時の動的 SN が悪化し、聴感上の SN も悪化することを突き止めました。
人の耳では 20kHz 以上の音が聞こえませんが、それ以上の周波数でも異なる信号が重なるとビート（唸り）として聞くことができることは良く知られています。
アナログ音源時代は可聴帯域外には大きな信号は入っていませんでした。しかしデジタル音源になることで、可聴帯域をこえる録音が可能となり、発生したビートが可聴帯域内に入り込んで来ているのです。
New circuit technology（ニュー サーキット テクノロジー）は高周波で発生するビートを可聴帯域内に入らないようにした新しい考え方を取り入れています。

デジタルとアナログで独立した回路とトランス

C-7000R では、干渉を防ぐために、デジタル処理とアナログ処理で物理的に独立した回路を使用しています。
同様に、デジタル回路とアナログ回路でも個別のトランスを使用しています。

安定した超高精度クロック発振器を採用

C-7000R は、常温で従来の発振器に比べて高精度の± 1.5ppm の周波数偏差を実現する最先端の水晶発振器を使用しています。
温度環境が 80 ℃～ -30 ℃の範囲で変化しても、追加周波数偏差± 0.5ppm の安定性を実現しています。
C-7000R の最大の特長は、きわめて精度の高いクロッキングメカニズムです。
このメカニズムによって、すべてのデジタル信号のプロセスのタイミングを制御・調節しています。これは、オーケストラの指揮者が、個々の楽器を指揮したり調整したりする様子に似ています。

PLL（Phase（フェイズ） Locked（ロックド） Loop（ループ））方式ジッタークリーナー搭載

ジッターとは、デジタル / アナログ変換時に発生する不要な副作用であり、デジタル信号の時間領域の変化によって生じます。
PLL 方式ジッタークリーナー技術は、デジタル信号の入力と出力の位相を比較し、正確なクロック波形を生成することによって、ジッターを低減する技術です。
この技術によって、デジタル信号の処理精度が向上し、音質の大幅な向上を体感できます。

サイドパネルマウンティング構造

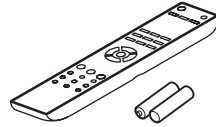
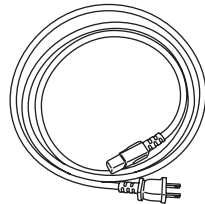
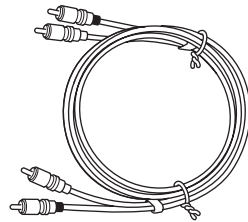
C-7000R の基板は直接底板に接続せずに、内部の支柱で衝撃を吸収し、前面、側面、後面のパネルに取り付けています。
このような構造を採用することによって、シャーシの振動が基板に悪影響を与えないようにしています。

ブロックダイアグラム

Transport
Master Clock
16.9344 MHz (±0.5 PPM)
Jitter Cleaner
CD
CD DSP
Display
Circuit
Buffer
Memory
DAC
(PCM1792)
Differential Operation
I/V
Converter
I/V
Converter
Buffer Amp
ANALOG L OUT
DAC
(PCM1792)
Differential Operation
I/V
Converter
I/V
Converter
Buffer Amp
ANALOG R OUT
DAC
Analog +
Analog –
Toroidal
Transformer
Digital Out
ON/OFF
COAXIAL OUT
OPTICAL OUT
AES/EBU OUT
DSP
Motor
FL
Control 1
EI
Transformer
Control 2

付属品

ご使用の前に、次の付属品がそろっていることをお確かめください。

リモコン（RC-796C）. . . . .（1）
乾電池（単４形、R03）. . . . .（2）

電源コード（2m）. . . . .（1）

オーディオ用ピンコード（0.8m）. . . . .（1）

取扱説明書（本書）. . . . .（1）
保証書. . . . .（1）
オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内. . . . .（1）
ユーザー登録カード. . . . .（1）

* カタログおよび包装箱などに表示されている、型名の最後にあるアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法は同じです。

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

接続する

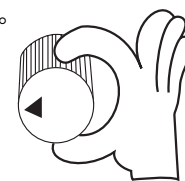
基本操作

操作する（応用編）

応用設定をする

その他

音のエチケット

楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた
間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⦸ 記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

カバーははずさない、分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■通風孔をふさがない、放熱を妨げない

禁止

- 押し入れや本箱など通気性の悪い狭い所に設置して使用しない
- （本機の天面、横から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のスペースをあける）
- 逆さまや横倒しにして使用しない
- 布やテーブルクロスをかけない
- じゅうたんやふとんの上に置いて使用しない

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。
- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

電源コード・電源プラグに関するご注意

■電源コードを傷つけない

禁止

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにする
- 傷つけたり、加工したりしない
- 無理にねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具などに近づけない、加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■電源プラグは定期的に掃除する

必ずする

電源プラグにほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。電源プラグを抜いて、乾いた布でほこりを取り除いてください。

⚠警告

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
・本機の通風孔、ディスク挿入口から異物を入れない

■ディスク挿入口に手を入れない

指のけがに注意

けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

■ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

ディスクは機器内で高速回転しますので、割れて破片が内部に落ちたり外に飛び出して、故障やけがの原因となることがあります。

■レーザー光源をのぞき込まない

禁止

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池に関するご注意

■乾電池を充電しない、加熱・分解しない、火や水の中に入れない

禁止

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
・指定以外の電池は使用しない
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
・電池を使い切ったときや長時間リモコンを使用しないときは電池を取り出す
・コインやネックレスなどの金属物と一緒に保管しない
・極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れる

■電池から漏れ出た液にはさわらない

接触禁止

万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いた場合は、すぐにきれいな水で充分洗い流し、医師にご相談ください。

⚠注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。
本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

電源コード・電源プラグに関するご注意

■表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する

必ずする

本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

■電源コードを束ねた状態で使用しない

禁止

発熱し、火災の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
プラグを持って抜いてください。

■長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因となることがあります。

■電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込む

禁止

差し込みが不完全のまま使用すると、感電、発熱による火災の原因となります。
プラグが簡単に抜けてしまうようなコンセントは使用しないでください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

接触禁止

感電の原因になることがあります。

■お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠注意

使用上のご注意

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は電源プラグや接続コードをはずす

電源プラグをコンセントから抜く

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因となります。

■機器内部の点検について

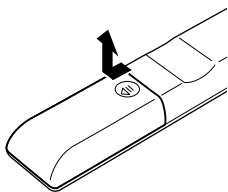
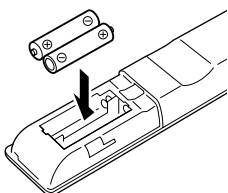
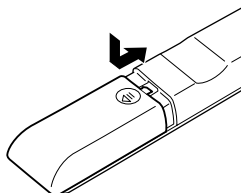
お客様のご使用状況によって、定期的に機器内部の掃除をおすすめします。
本機の内部にほこりがたまったまま使用していると火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部清掃については、販売店にご相談ください。

■本機のお手入れについて

- 表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。化学ぞうきんなどお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどに従ってください。
- シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装が落ちたり変形することがあります。

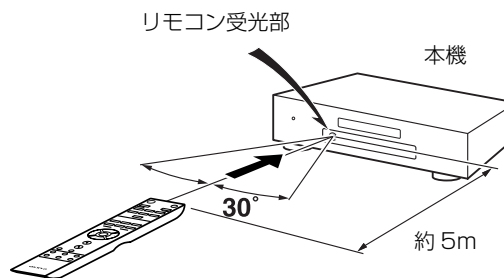
お使いになる前に

乾電池を入れる

1 小さなくぼみを押しながら、スライドし電池カバーを開ける

2 図の極性に合わせて電池（単４形、R03）を入れる

3 電池カバーを元に戻す

お知らせ

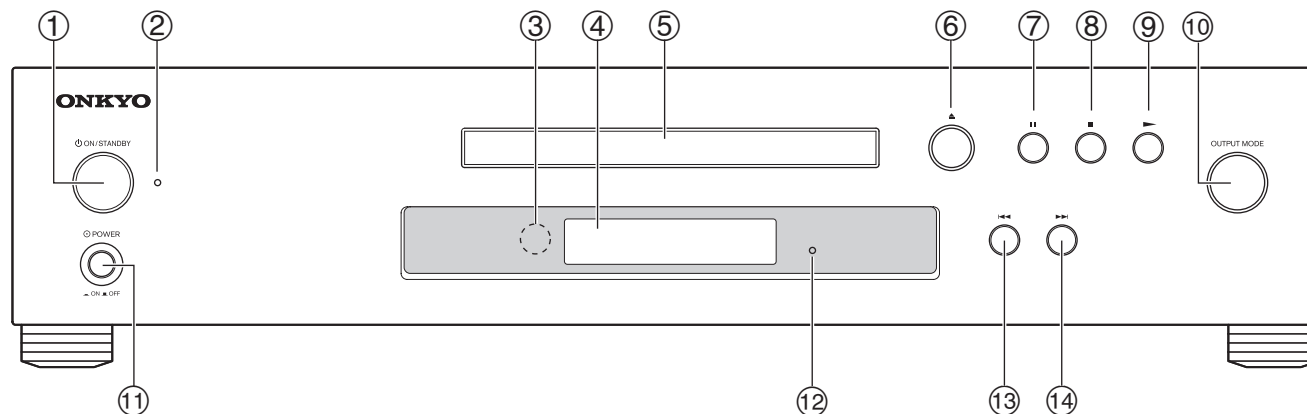
- リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して、２本とも新しい電池と交換してください。
- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、電池を取り出しておいてください。
- 消耗した電池を入れたままにしておくと、腐食によりリモコンをいためることがあります。

リモコンの使いかた

リモコンを本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

お知らせ

- 本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に何も置かないでください。圧力がかかると電池が液漏れする場合があります。
- 本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置していると、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物があると、リモコンが正常に機能しないことがあります。

本機について

前面パネル

詳細については、（　）内のページをご覧ください。

① ON/STANDBY ボタン（➔ 21）
電源のオン / スタンバイを切り換えます。

② STANDBY LED（➔ 21）
スタンバイ状態のときに点灯します。

③ リモコン受光部（➔ 10）
リモコンからの信号を受信します。

④ 表示部（➔ 12）

⑤ ディスクトレイ（➔ 22）
ディスクをセットします。

⑥ ⏏ ボタン（➔ 22）
ディスクトレイを開閉します。

⑦ ❚❚ ボタン（➔ 22）
再生を一時停止します。一時停止中は、再生を再開します。

⑧ ■ ボタン（➔ 22）
ディスクの再生を停止します。

⑨ ► ボタン（➔ 22）
ディスクを再生します。

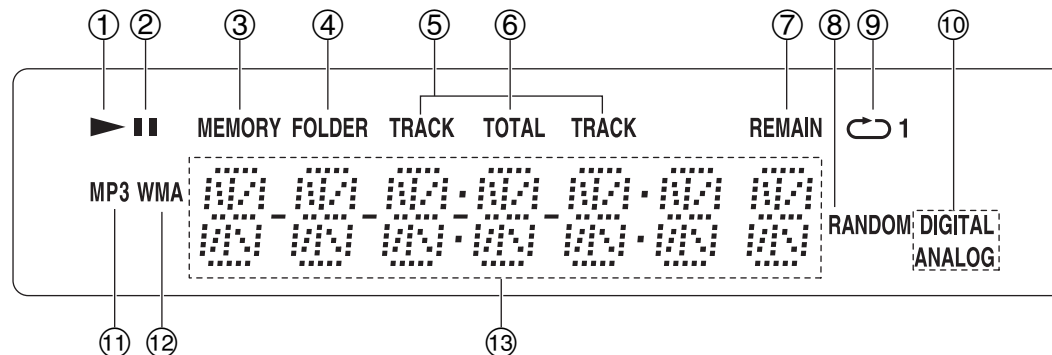
⑩ OUTPUT MODE ボタン（➔ 32）
音声出力信号を切り換えます（アナログ、デジタル、または両方）。

⑪ POWER スイッチ（➔ 21）
本機の主電源を入 / 切します。OFF（■）にすると本機の主電源が切れます。ON（■）にすると本機はオン、またはスタンバイモードになります。

⑫ DISPLAY OFF LED（➔ 24）
表示部が消灯しているときに点灯します。
ASb（Auto Standby）設定（➔ 32）を ON に設定している場合に、自動的にスタンバイ状態になる直前の 30 秒間、DISPLAY OFF LED が点滅します。

⑬ ⏮ ボタン（➔ 22）
再生中の曲の頭出しをします。続けて押すと、ひとつ前の曲を選択します。押し続けると早戻しします。

⑭ ⏭ ボタン（➔ 22）
次の曲の頭出しをします。押し続けると早送りします。

表示部

詳細については、（　）内のページをご覧ください。

① ► 表示（➔ 22）
再生中に点灯します。

② ❚❚ 表示（➔ 22）
一時停止中に点灯します。

③ MEMORY（メモリー）表示（➔ 26、27、28）
メモリー再生中に点灯します。

④ FOLDER（フォルダ）表示（➔ 23）
フォルダ名と共に点灯します。

⑤ TRACK（トラック）表示（➔ 22）
トラック番号、またはファイル名と共に点灯します。

⑥ TOTAL（トータル）表示（➔ 21）
曲の長さや残り時間を表示するときに点灯します。

⑦ REMAIN（リメイン）表示（➔ 30）
残り時間を表示するときに点灯します。

⑧ RANDOM（ランダム）表示（➔ 29）
ランダム再生中に点灯します。

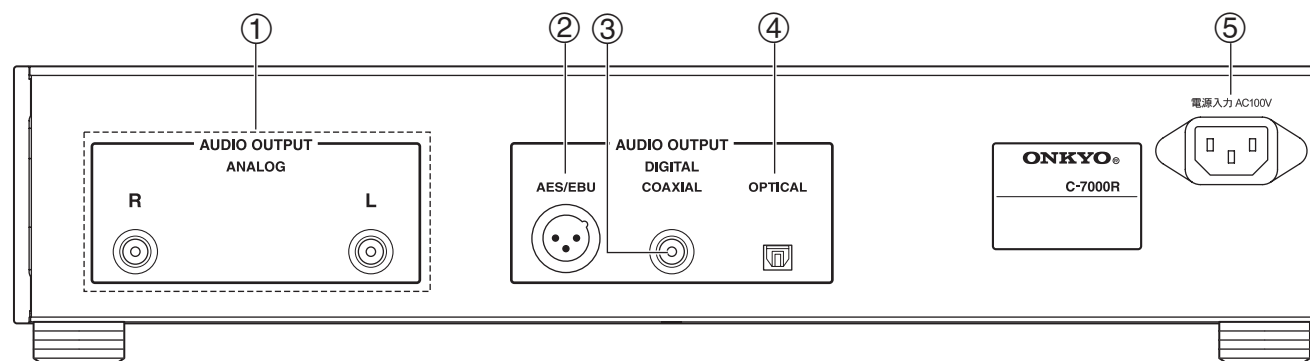
⑨ ⊂⊃1 表示（➔ 25）
リピート再生中に点灯します。
再生中の曲だけをリピートするときは、「1」も点灯します。

⑩ **音声出力表示**
音声出力のタイプを表示します（➔ 32）：
DIGITAL（デジタル）、ANALOG（アナログ）、または両方。

⑪ MP3 表示（➔ 30）
MP3 の曲が含まれているフォルダ名、ファイル番号、またはファイル名と共に点灯します。

⑫ WMA 表示（➔ 30）
WMA の曲が含まれているフォルダ名、ファイル番号、またはファイル名と共に点灯します。

⑬ **多目的表示部**
再生時間や名前などを表示します。

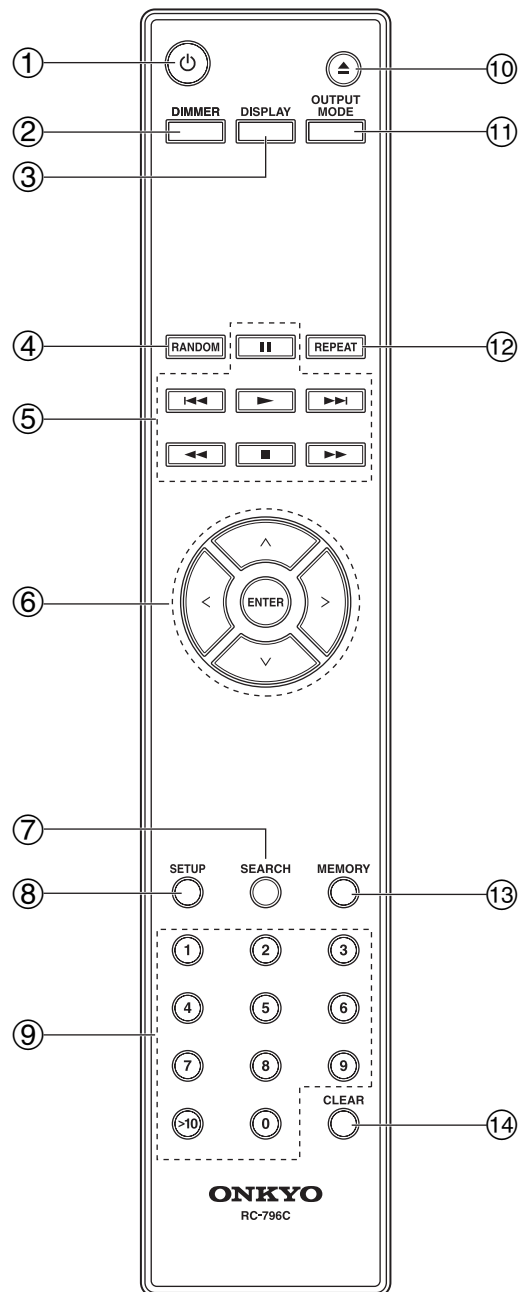
後面パネル

① **AUDIO OUTPUT ANALOG L/R 端子**
付属のオーディオ用ピンコードを使って、アンプなどのアナログ音声入力端子と接続します。

② **AUDIO OUTPUT DIGITAL AES/EBU 端子**
バランス（AES/EBU）入力機器を接続するデジタル音声出力端子です。

③ **AUDIO OUTPUT DIGITAL COAXIAL 端子**
COAXIAL（同軸）デジタル音声入力機器を接続するデジタル音声出力端子です。

④ **AUDIO OUTPUT DIGITAL OPTICAL 端子**
OPTICAL（光）デジタル音声入力機器を接続するデジタル音声出力端子です。

⑤ **電源入力 AC100V 端子**
付属の電源コードを接続します。

接続については「接続をする」をご覧ください（➔ 17 ～ 20）。

リモコン

リモコンで本機を操作することもできます。
詳細については、（　）内のページをご覧ください。

① ⏻ **ボタン**（➔ 21）
電源のオン / スタンバイを切り換えます。

② **DIMMER ボタン**（➔ 24）
表示部の明るさを切り換えます。

③ **DISPLAY ボタン**（➔ 30）
表示部の情報を切り換えます。

④ **RANDOM ボタン**（➔ 29）
ランダム再生するときに押します。

⑤ **再生モードボタン**（➔ 22）

❚❚ ボタン
再生を一時停止します。一時停止中は、再生を再開します。

⏮ ボタン
再生中の曲の頭出しをします。続けて押すと、ひとつ前の曲を選択します。

► ボタン
ディスクを再生します。

⏭ ボタン
次の曲の頭出しをします。

◄◄ ボタン
再生中の曲を早戻しします。

■ ボタン
再生を停止します。

►► ボタン
再生中の曲を早送りします。

⑥ **∧/∨/</>/ENTER ボタン**
設定項目を選択します。**ENTER** ボタンを押すと、選択している項目を確定します。

⑦ **SEARCH ボタン**（➔ 29）
MP3 や WMA を記録した CD のフォルダや曲を検索します。

⑧ **SETUP ボタン**
本機の設定を行います。

⑨ **数字ボタン**（➔ 24）
選曲時などに使用します。

⑩ **⏏ ボタン**（➔ 22）
ディスクトレイを開閉します。

⑪ **OUTPUT MODE ボタン**（➔ 32）
音声出力信号を切り換えます（アナログ、デジタル、または両方）。

⑫ **REPEAT ボタン**（➔ 25）
リピート再生をするときに押します。

⑬ **MEMORY ボタン**（➔ 26、27、28）
メモリー再生を開始 / 終了します。

⑭ **CLEAR ボタン**
数値入力時に入力した数値を取り消します。メモリー設定時に、選択した曲を取り消します。

ディスクについて

再生できるディスクについて

本機は以下のディスクに対応しています。

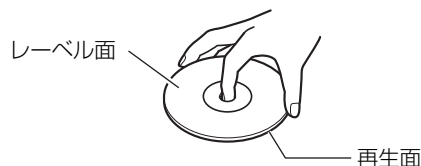
Audio CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	PCM
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	Audio CD、MP3、WMA
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable	Audio CD、MP3、WMA

・上記以外のディスクを再生しないでください。ノイズが出たり、本機が正常に動作しないことがあります。
・本機は CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」または「音が歪む」などの現象が起きることがあります。ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。
・ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の再生について

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽 CD の中には、正式な CD 規格に合致しないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて

再生面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

再生面はもちろんレーベル面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

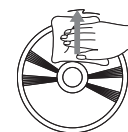
レンタル CD の注意について

CD にセロハンテープやレンタル CD のラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CD が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

インクジェットプリンター対応ディスクについてのご注意

プリンターでレーベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となる恐れがあります。必要なとき以外は、ディスクを入れたままにしないでケースに保管してください。
なお、印刷直後のディスクは貼り付きやすいので、使用しないでください。

お手入れについて

汚れにより信号が読み取りにくくなり、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、再生面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。
アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

結露について

本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください。

MP3、WMA CD の再生について

本機は MP3 や WMA の記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生できます。

- ISO9660 レベル 2 のファイルシステムに従って記録したディスクを使用してください。（ただし、対応している階層は ISO9660 レベル 1 と同じ 8 階層までです。）また、HFS（hierarchical（ヒエラキカル） file（ファイル） system（システム））ファイルシステムで記録されたディスクは再生できません。
- ディスクトレイは常に閉じた状態にしてください。

お知らせ

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります。（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）
- パソコンで記録したディスクはアプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）
- データ容量が小さすぎるディスクは再生できないことがあります。

MP3 CD の再生について

- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- MPEG 1オーディオレイヤー 3（32-320kbps）のサンプリング周波数 32/44.1/48kHz で記録されたファイルに対応しています。
- 32kbps から 320kbps の可変ビットレート（VBR：Variable（バリアブル） Bit（ビット） Rate（レート））に対応しています。VBR 再生中は表示部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WMA CD の再生について

- 「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- 「.wma」、「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 32kbps から 192kbps（32/44.1/48kHz）の可変ビットレート（VBR：Variable Bit Rate）に対応しています。
- 著作権保護された WMA ファイルは再生できません。
- WMA Pro、Lossless（ロスレス） および Voice（ボイス） には対応していません。

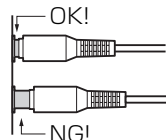
* Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

接続をする

接続に必要なケーブルの名称と接続端子の形状

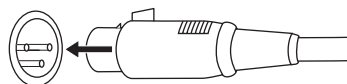
ケーブル		端子	説明
バランス型 AES/EBU ケーブル		AES/EBU	音声専用のデジタル転送規格に準拠した AES/EBU ケーブルを用いてデジタル音声信号を伝送します。 バランスタイプの AES/EBU ケーブルは長いケーブル引き回しでもノイズを最小限に抑えるため長距離の伝送に適しています。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 44.1kHz/16bit、2 チャンネルです。
光デジタルケーブル （OPTICAL）		OPTICAL	PCM デジタル音声を楽しむことができます。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 44.1kHz/16bit、2 チャンネルです。
同軸デジタルケーブル （COAXIAL）		COAXIAL オレンジ	PCM デジタル音声を楽しむことができます。 PCM 出力信号で利用できるサンプリングレートは、最大 44.1kHz/16bit、2 チャンネルです。
オーディオ用 ピンケーブル		L 白 R 赤	アナログ音声信号を伝送します。

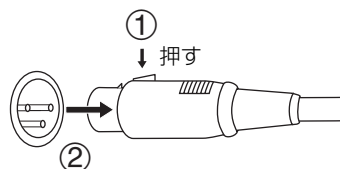
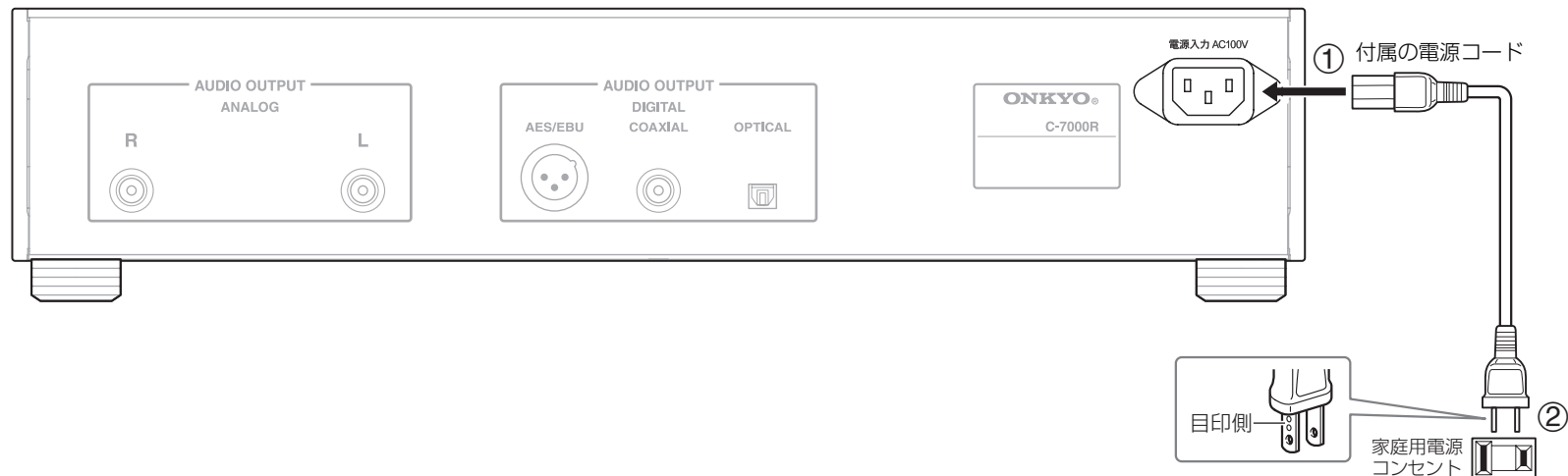
お知らせ

・プラグは奥までしっかり押し込んでください（ノイズや誤動作の原因になります）。

・ケーブル同士の接触を防ぐため、音声ケーブルや電源・スピーカーケーブルが接近しないようにしてください。
・本機の光デジタル端子は、すべてとびらタイプですので、とびらをそのまま奥へ倒すようにして、光デジタルケーブルを差し込んでください。
・光デジタルケーブルはまっすぐ抜き差ししてください。ななめに抜き差しすると、とびらが破損する場合があります。

バランス型 AES/EBU 出力端子について

AES/EBU ケーブルを接続する

ピンの位置を合わせてカチッと音がするまで端子を差し込みます。ケーブルを軽く引っ張り、完全に接続されているかどうか確認してください。

AES/EBU ケーブルをはずす

コネクターケーブルのボタンを押しながら、矢印の方向にケーブルを引っ張ります。

電源コードを接続する

1 本機の主電源が切れていることを確認します。

2 すべての接続が完了していることを確認します。

3 付属の電源コードを、本機の**電源入力 AC100V** 端子に接続します。

4 電源コードを家庭用電源コンセントに接続します。

より良い音で聴いていただくために
本機の電源コンセントは極性の管理がされています。電源プラグの目印側を、家庭用電源コンセントの溝の広い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

ヒント

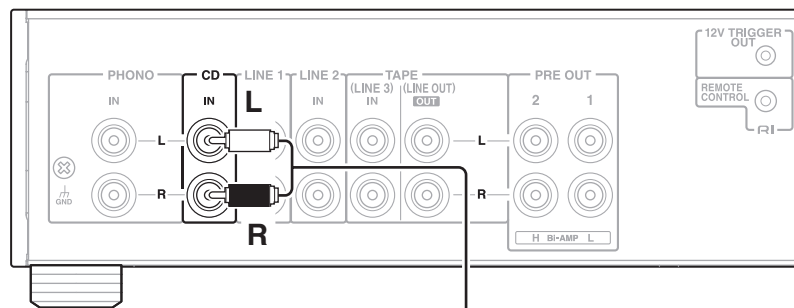
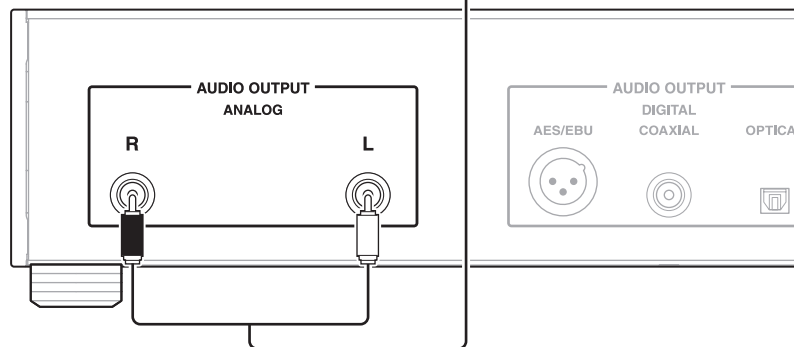
· ノイズを抑えるため、信号ケーブルと電源ケーブルは一緒に束ねず、お互いに離して配線してください。

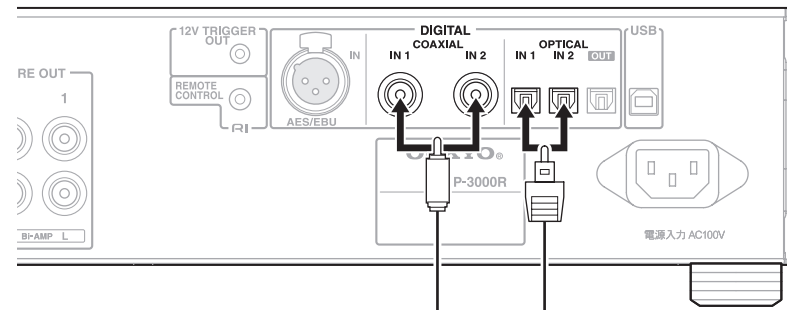
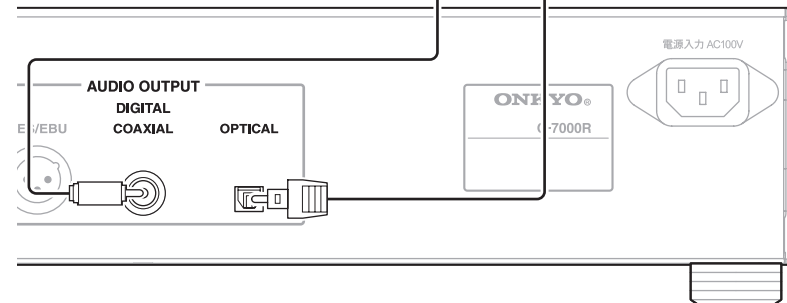
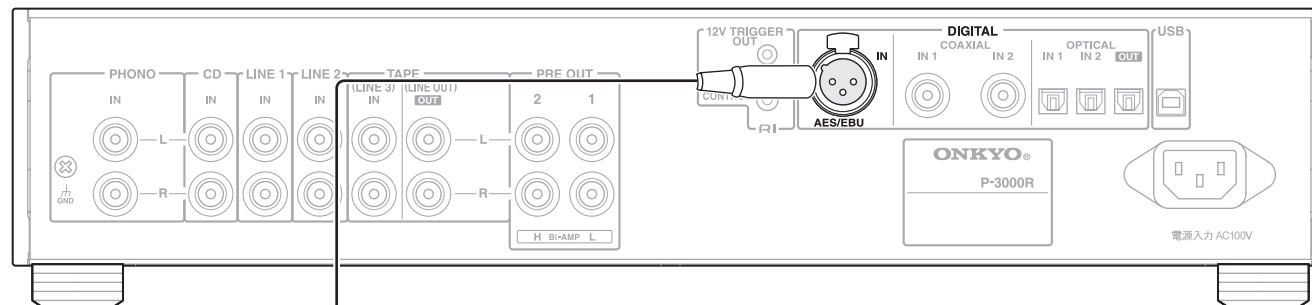
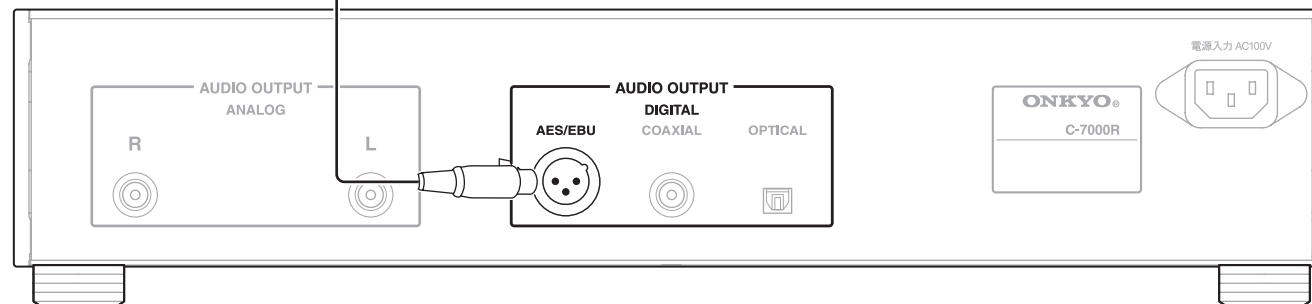
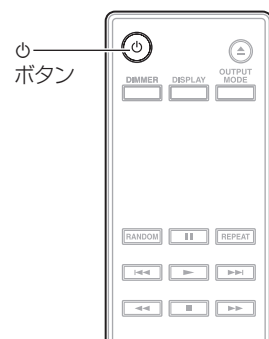
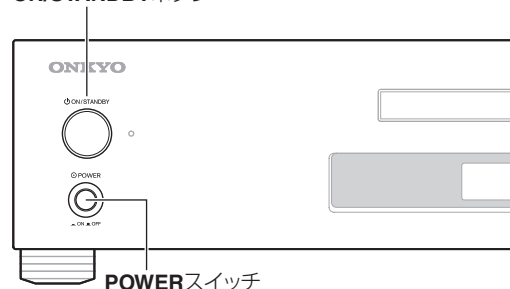
お知らせ

· **家庭用電源コンセントに電源プラグを差し込んだ状態で、電源入力 AC100V 端子から電源コードを抜くと、感電する可能性があります。**電源コードを接続するときは、最後に家庭用電源コンセントに接続し、抜くときは最初に家庭用電源コンセントから抜いてください。
· 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。
· 付属の本機専用電源コード以外は使用しないでください。
· 電源コードをコンセントから抜くときは、本機の主電源をオフにしてから抜いてください。

プリアンプまたはプリメインアンプを接続する

オンキヨー製プリアンプ P-3000R との接続例です。
詳しくは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

アナログで接続する

デジタル（OPTICAL（光）または COAXIAL（同軸））で接続する

デジタル（AES/EBU）で接続する

基本操作

本機の電源を入れる・切る

本機の電源を入れる

1 **前面パネルの POWER（パワー） スイッチを押して（▃）、主電源を入れる**

2 **⏻ ボタンを押す**

または

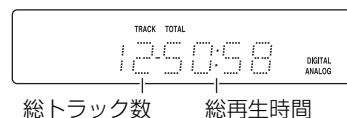
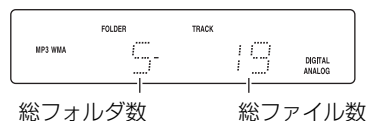
前面パネルの ON/STANDBY（オン スタンバイ） ボタンを押す

STANDBY LED が消え、表示部が点灯します。

（音楽 CD 表示）

総トラック数　総再生時間

（MP3/WMA 表示）

総フォルダ数　総ファイル数

ヒント

・一定期間ウォーミングアップすると、本機の部品や内部温度が安定し、音が柔らかくなります。

お知らせ

・表示部に「NO DISC（ノー ディスク）」と表示された場合、使用可能なディスク情報はありません。

・本機は電源を OFF にした際の状態を記憶し、電源を ON にすると前回電源 OFF 時の状態に戻ります。

本機の電源を切る

1 **⏻ ボタンを押す**

または

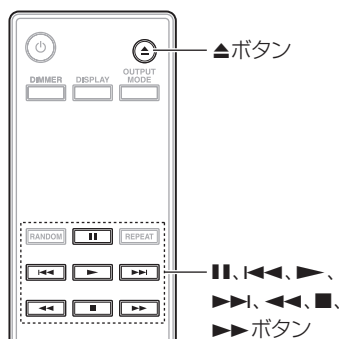
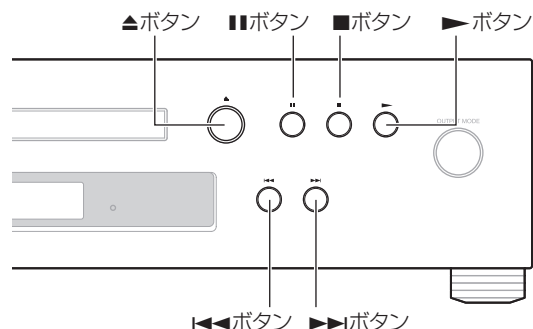
前面パネルの ON/STANDBY ボタンを押す

本機がスタンバイ状態になり、STANDBY LED が点灯します。

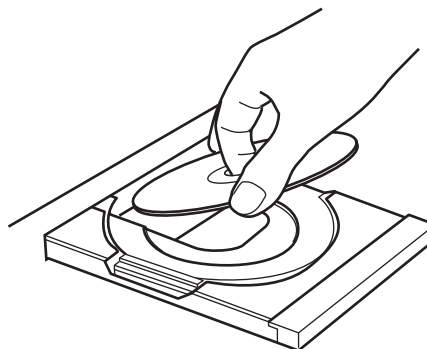
2 **主電源を切るには POWER スイッチを押し、OFF（▄）にする**

お知らせ

・自動スタンバイ機能については、「ASb（自動スタンバイ）」をご覧ください（➔ 32）。

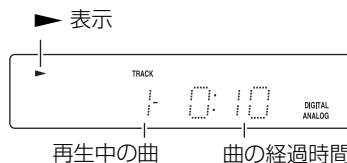
ディスクを再生する

1 **⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開く**

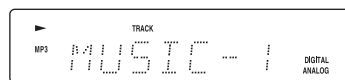
本機がスタンバイ状態のときに ⏏ ボタンを押すと、自動的に電源が入りディスクトレイが開きます。

2 **レーベル面を上にしてディスクトレイの上に置く**

8cm CD のときは、内側のくぼみの中に置きます。

3 **► ボタンを押す**

ディスクトレイが閉まって再生が始まります。

（音楽 CD 表示）

（MP3/WMA 表示）

スクロールしてファイル名が表示されます。

ヒント

- 本機で表示できるのは英数字だけです。日本語やその他の表示できない文字は下線で表示されます。
- 本機の電源をオンしたとき、ディスクがトレイにセットされていると、自動的に再生を開始します。

■ 曲を選択する

次の曲 / ファイルに進むには ⏭ ボタンを押し、前の曲 / ファイルに戻るには ⏮ ボタンを押します。

- 再生中または一時停止中に ⏮ ボタンを押すと、曲の頭に戻ります。
- 停止中に曲 / ファイルを選択した場合、► ボタンを押すと再生が始まります。
- MP3、WMA のときに ⏮/⏭ ボタンを押すと、次の情報が表示されます：
  （再生中）ファイル番号 / ファイル名→ファイル名→ファイル番号 / 再生時間
  （一時停止中）ファイル番号 / ファイル名→ファイル名→フォルダ番号 / ファイル番号

■ 早送り / 早戻しする

再生中または一時停止中に、▶▶ ボタンを押し続けると早送り、◀◀ ボタンを押し続けると早戻しとなります。

■ 一時停止する

再生中に ❚❚ ボタンを押します。❚❚ 表示が点灯します。

もう一度押すか、► ボタンを押すと、再生が再開します。

■ 停止する

■ ボタンを押します。

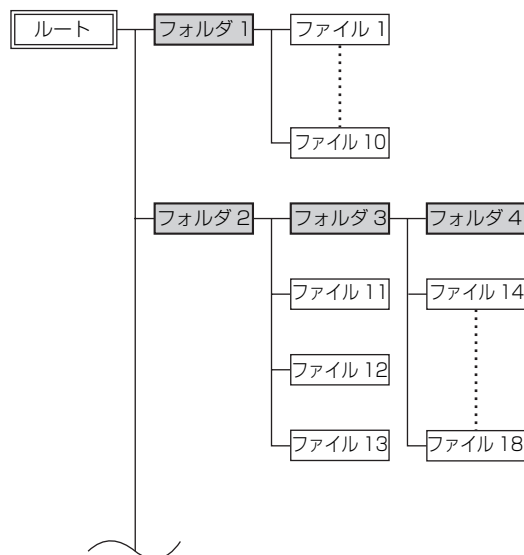
■ ディスクを取り出す

⏏ ボタンを押してディスクトレイを開けます。

お知らせ

- MP3/WMA CD では、他のフォルダのファイルを選ぶこともできます。

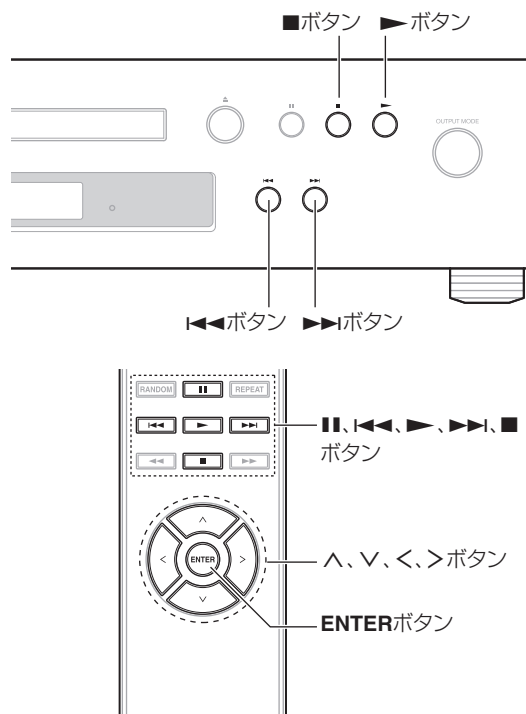
ファイルを選択する（MP3/WMA）

MP3/WMA CD では、フォルダの中にファイル（MP3/WMA）が入っています。
フォルダの中にさらにフォルダが入っていて、その中に MP3/WMA ファイルが入っている場合もあり、下記の例のように階層構造になっています。

この取扱説明書では、MP3/WMA ファイルのことをファイルと呼んでいます。同様に、フォルダ（ディレクトリ）のことをフォルダと読んでいます。

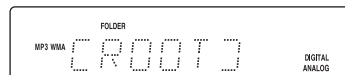
フォルダを選んでから再生したいファイルを選ぶには、次の二つの方法があります：ナビゲーションモードとオールフォルダモード。
ナビゲーションモードでは、フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。
オールフォルダモードでは、すべてのフォルダが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダを選んでファイルを選びます。

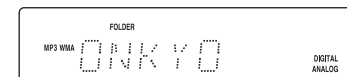
お知らせ

・再生するときにフォルダもファイルも選ばなかったときは、上記のファイル番号順に再生します。

ナビゲーションモードでファイルを選ぶ

ナビゲーションモードでは、フォルダの階層にしたがって順にフォルダを選択し、ファイルを選びます。このモードは停止中の場合のみ使用できます。

1 停止中に、∨ ボタンまたは ■ ボタンを押す

表示部に「[ROOT]」と表示され、ナビゲーションモードになります。

2 ∨ ボタンまたは ENTER ボタン（前面パネル：► ボタン）を押す

Root の下の最初のフォルダ名が表示されます。フォルダが無いときは、最初のファイル名が表示されます。

3 </> ボタンまたは |◄◄/►►| ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ

上の階層に戻るには、∧ ボタン、または ❚❚ ボタン（前面パネル：■ ボタン）を押す

ファイル、またはサブフォルダの入っていないフォルダは選ぶことができません。

4 下の階層に進むには、ENTER ボタンまたは ∨ ボタン（前面パネル：► ボタン）を押す

5 </> ボタンまたは |◄◄/►►| ボタンを押して、フォルダの中にあるファイルを選ぶ

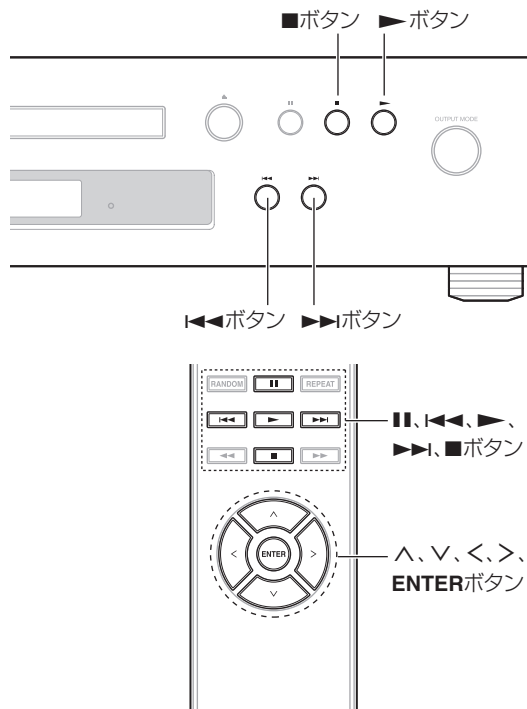
6 ► ボタンまたは ENTER ボタンを押す

選んだファイルやフォルダの再生が始まります。ディスク内のすべてのファイルを順に再生します。

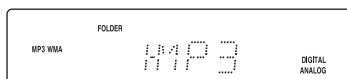
操作を途中で中断する場合、リモコンの ■ ボタンを押してください。

お知らせ

・前面パネルの ■ ボタンの働きは「STOP-KEY」で設定できます（→ 32）。

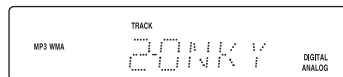
オールフォルダモードでファイルを選ぶ

オールフォルダモードでは、すべてのフォルダが同列に扱われ、階層を選ぶ必要が無く、フォルダを選んでファイルを選びます。このモードは停止中の場合のみ使用できます。

1 停止中に ∧ または ❚❚ ボタンを押す（前面パネル：■ ボタン長押し）

表示部に「1-」と表示され、オールフォルダモードになります。

2 </> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、フォルダを選ぶ

ファイルの入っているフォルダを選ぶことができます。

3 ∨ ボタン（前面パネル：► ボタン）を押す

フォルダ内の最初のファイル名が表示されます。</> ボタン、または ⏮/⏭ ボタンを押して、フォルダの中にあるファイルを選びます。

他のフォルダを選びたいときは、もう一度 ❚❚ ボタンを押して、⏮/⏭ ボタンで選びます。

4 ENTER（エンター） ボタンまたは ► ボタンを押す

選んだファイルの再生が始まります。

操作を途中で中断する場合、リモコンの ■ ボタンを押してください。

■数字ボタンでフォルダやファイルを選ぶには

1. 数字ボタンを押してフォルダ / ファイル番号を入力します。

選択する：	押す：
フォルダ / ファイル番号：8	8
フォルダ / ファイル番号：10	0
フォルダ / ファイル番号：34	>10 3 4

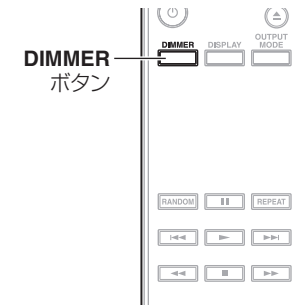
>10 番号が 10 以上の場合に使用します。

例：8 番の場合は、**8** を押します。34 番の場合は、**>10**、**3**、**4** を押します。

2. 再生が始まります。フォルダ番号を入力した場合、選んだフォルダの最初のファイルから再生されます。99 個以上のファイルが入っている場合、1 桁、2 桁の番号は 0 を付ける必要があります。134 番の場合は、**>10**、**1**、**3**、**4** を押します。

お知らせ

・前面パネルの ■ ボタンの働きは「STOP-KEY」で設定できます（➔ 32）。

表示部の明るさを変える

表示部の明るさを変えることができます。

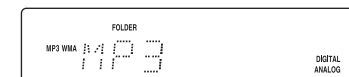
1 DIMMER（ディマー） ボタンをくり返し押す

順番に表示部の明るさが変化します。

普通→暗い→消灯

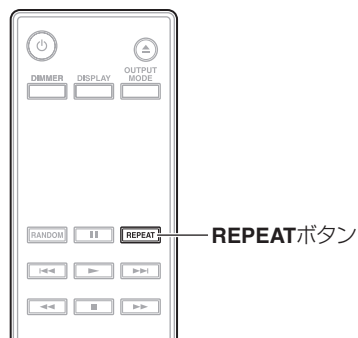
普通

暗い

消灯

DISPLAY（ディスプレイ） OFF（オフ） LED が点灯します。

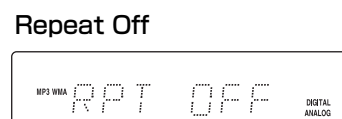
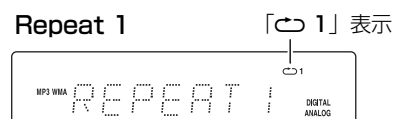
本体キーまたは、リモコンキーを押すと、5 秒間一時的に点灯します。

操作する（応用編）

リピート再生する

リピート再生はディスクをくり返し再生、1 曲をくり返し再生、メモリー再生と組み合わせてプレイリストをくり返し再生、ランダム再生を組み合わせてランダム再生された全曲をくり返し再生できます。

1 REPEAT（リピート） ボタンをくり返し押して、Repeat All、Repeat 1、Repeat Off（オフ） を選ぶ

「⟲」または「⟲ 1」表示が点灯します。

Repeat All → Repeat 1 → Repeat Off

Repeat Off

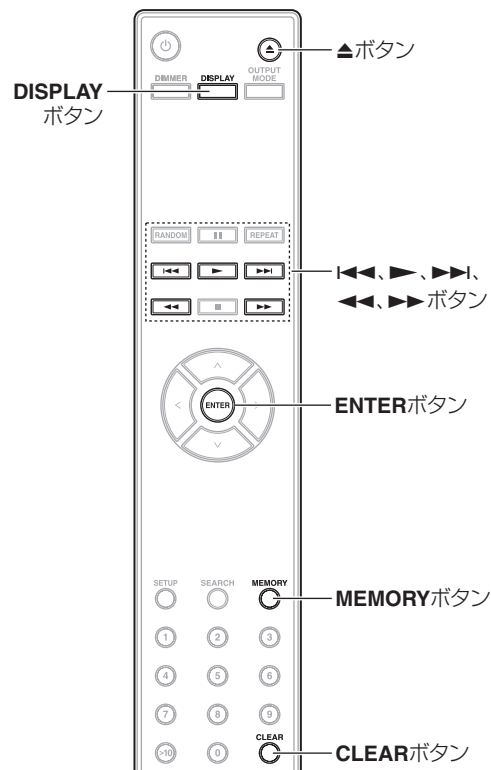
Repeat 1 再生はメモリー再生、ランダム再生と組み合わせることはできません。

2 リピート再生を解除する場合、「RPT OFF」が表示されるまで REPEAT ボタンをくり返し押す

「⟲」または「⟲ 1」表示が消灯します。

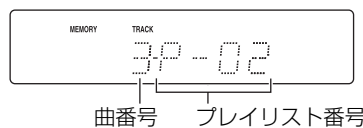
ヒント

- ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けた場合、リピート再生は解除されます。
- 電源をスタンバイにした場合、リピート再生は解除されます。

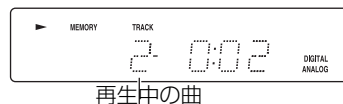
メモリー再生する（音楽 CD）

メモリー再生では、曲を登録し（25 曲まで）、その順序で再生します。このモードは停止中の場合のみ使用できます。

1 MEMORY ボタンを押す

MEMORY 表示が点灯します。

2 ⏮/⏭ ボタンで選び、▶ ボタンまたは ENTER ボタンを押す

プレイリストに曲を追加する場合、この手順を繰り返します。数字ボタンで、再生したい曲を選択することもできます。

3 ENTER ボタンまたは ▶ ボタンを押す

メモリー再生が始まります。

■表示を切り換える

メモリー再生を設定中、**DISPLAY** ボタンをくり返し押して、表示を切り換えることができます：曲番号 / プレイリスト番号→曲番号 / 再生時間→曲番号 / 総再生時間

■登録した曲のなかで選曲する

メモリー再生中に ⏮/⏭ ボタンを押して、曲を選択します。

■登録したプレイリストを確認するには

停止中に ◀◀/▶▶ ボタンを押します。曲番号と再生時間が表示されます。

■登録した曲を取り消すには

- 停止中に **CLEAR** ボタンを繰り返し押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。
- 再生モードを切り換えるとプレイリストは削除されます（停止中に **MEMORY** ボタンを押す）。

■メモリー再生を解除するには

- 再生を停止させ、**MEMORY** ボタンを押して、再生モードを切り換えます。MEMORY 表示が消灯し、メモリー再生は解除されます。
- ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、メモリー再生は解除されます。

お知らせ

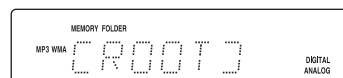
- 総再生時間が 99 分 59 秒を超える場合は、「- - : - -」と表示されます。
- 最大 25 曲まで登録できます。それを超えて登録しようとすると「MEM-FULL」と表示されます。

メモリー再生する（MP3/WMA）

ナビゲーションモードでメモリー再生する

メモリー再生では、曲を登録し（25 曲まで）、その順序で再生します。このモードは停止中の場合のみ使用できます。

1　MEMORY（メモリー） ボタンを押す
MEMORY 表示が点灯します。

2　∨ ボタンまたは ■ ボタンを押す
表示部に「[ROOT]（ルート）」と表示され、ナビゲーションモードになります。

3　∨ ボタンまたは ENTER（エンター） ボタン（前面パネル：► ボタン）を押す
Root の下の最初のフォルダ名が表示されます。フォルダが無いときは、最初のファイル名が表示されます。

4　</> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダやファイルを選ぶ
ファイル、またはサブフォルダの入っていないフォルダは選ぶことができません。

5　下の階層に進むには、ENTER ボタンまたは ∨ ボタン（前面パネル：► ボタン）を押す

6　</> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、フォルダの中にあるファイルを選ぶ

7　► ボタンを押す
プレイリストにファイルが登録されます。

8　</> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、ファイルの選択を続ける
上の階層に戻るには、∧ ボタン、または ❚❚（前面パネル：■）ボタンを押します。
ファイルの登録を続ける場合、4 ～ 7 の手順を繰り返します。
同じフォルダの中にある違うファイルを選択する場合、⏮/⏭ ボタンでファイルを選び、► ボタンを押します。

9　ENTER ボタンまたは ► ボタンを押す
メモリー再生が始まります。

■表示を切り換える

メモリー設定を設定中、**DISPLAY（ディスプレイ）** ボタンを繰り返し押して、表示を切り換えることができます：ファイル名→フォルダ名→フォルダ番号 / ファイル番号

お知らせ

- ナビゲーションモードについては、「ナビゲーションモードでファイルを選ぶ」をご覧ください（→ 23）。
- 前面パネルの ■ ボタンの働きは「STOP-KEY」で設定できます（→ 32）。
- ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けた場合、メモリー再生は解除されます。
- 電源をスタンバイにした場合、メモリー再生は解除されます。

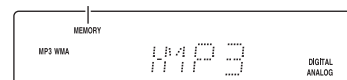
オールフォルダモードでメモリー再生する

1 MEMORY(メモリー) ボタンを押す

MEMORY 表示が点灯します。

2 ∧ ボタンまたは ❚❚ ボタンを押す
(前面パネル:■ ボタン長押し)

表示部に「1-」と表示され、オールフォルダモードになります。

MEMORY 表示

3 </> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、フォルダを選ぶ

4 ∨ ボタン(前面パネル:► ボタン)を押す

5 </> ボタンまたは ⏮/⏭ ボタンを押して、ファイルを選ぶ

6 ► ボタンを押す

プレイリストにファイルが登録されます。

7 ❚❚ ボタン(前面パネル:■ ボタン)を押して、手順 3 〜 6 を繰り返す

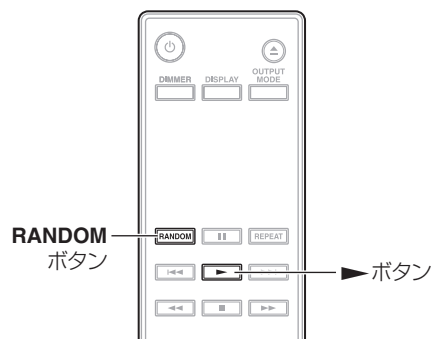
同じフォルダの中にある違うファイルを選択する場合、手順 5 〜 6 を繰り返します。

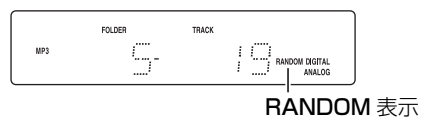
8 ENTER(エンター) ボタン(前面パネル:► ボタン)を押す

メモリー再生が始まります。

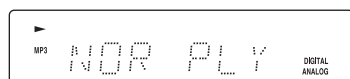
お知らせ

- オールフォルダモードについては、「オールフォルダモードでファイルを選ぶ」をご覧ください(➔ 24)。
- 前面パネルの ■ ボタンの働きは「STOP-KEY」で設定できます(➔ 32)。
- ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けた場合、メモリー再生は解除されます。
- 電源をスタンバイにした場合、メモリー再生は解除されます。

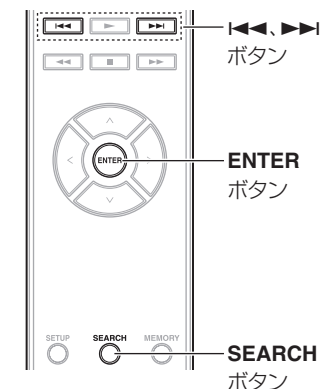
ランダム再生する

曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。このモードは停止中の場合のみ使用できます。

1 停止中に RANDOM ボタンを押す
RANDOM 表示が点灯します。

2 ► ボタンを押す
ランダム再生が始まります。

3 ランダム再生を解除するには、再生を停止して、RANDOM ボタンを押して、再生モードを切り換える
RANDOM 表示が消灯し、ランダム再生は解除されます。

再生中に **RANDOM** ボタンを押すと、「NOR PLY」（通常再生）が表示されます。

お知らせ

- ⏏ ボタンを押して、ディスクトレイを開けた場合、ランダム再生は解除されます。
- 電源をスタンバイにした場合、ランダム再生は解除されます。

フォルダを選ぶ（サーチモード）

再生中に MP3/WMA フォルダを選択する方法について説明します。

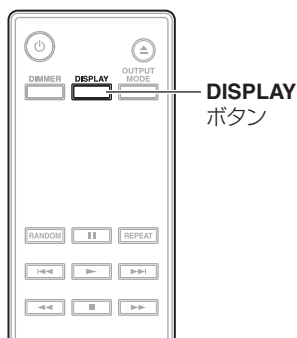
1 再生中に SEARCH ボタンを押す
本機がオールフォルダモードになり、フォルダが表示されます。

2 前のフォルダを選ぶ場合は、⏮ ボタンを押し、次のフォルダを選ぶ場合は、⏭ ボタンを押す
数字ボタンで、フォルダを選択することもできます。

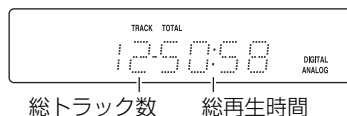
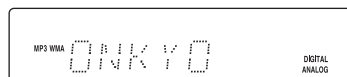
3 ENTER ボタンまたは ► ボタンを押す
選択したフォルダの最初のファイルから再生が始まります。

お知らせ

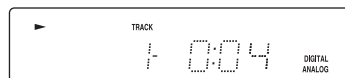
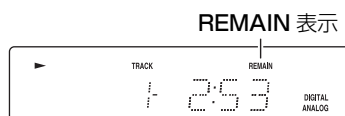
- ランダム再生中、メモリー再生中の場合、**SEARCH** ボタンは使えません（➔ 26、29）。
- 数字ボタンで選択する場合は、「オールフォルダモードでファイルを選ぶ」をご覧ください（➔ 24）。

表示を切り換える

1 **DISPLAY**（ディスプレイ）**ボタンをくり返し押して、以下の情報を表示させる**

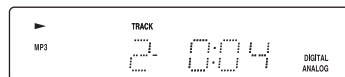
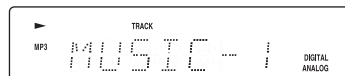
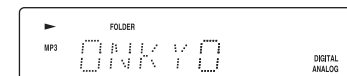
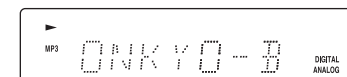
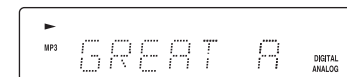
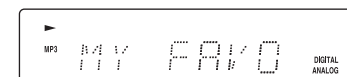
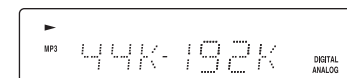
停止中

（音楽 CD 表示）
総トラック数と総再生時間が表示されます。

（MP3/WMA 表示）
ディスクの名前が表示されます。

再生中、一時停止中

（音楽 CD 表示）

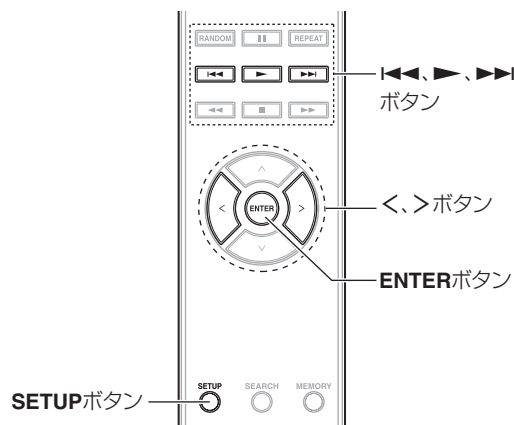
ファイルの経過時間：
再生しているファイルの経過した時間
（初期表示）

ファイルの残り時間：
現在のファイルの残り時間（REMAIN（リメイン）表示が表示されます）。

ディスクの残り時間：
ディスク全体の残り時間（TOTAL（トータル）と REMAIN 表示が表示されます）。

（MP3/WMA 表示）
再生している MP3/WMA タイトル名、アーティスト名、アルバム名の ID3 タグ情報などさまざまなファイル情報が表示できます。

ファイルの経過時間：
再生しているファイルの経過した時間
（初期表示）

ファイル名：
現在のファイル名

フォルダ名：
現在のフォルダ名

タイトル名：
現在のファイルのタイトル（ID3 タグがある場合）。ID3 タグが無い場合、「TITLE-NO DATA」と表示されます。

アーティスト名：
アーティストの名前（ID3 タグがある場合）。

アルバム名：
アルバムの名前（ID3 タグがある場合）。

サンプリング周波数とビットレート：
現在のファイルのサンプリング周波数とビットレート。

お知らせ

- ディスク名を表示する場合、停止中に **DISPLAY** ボタンを押す。
- 曲名やフォルダ名に、表示できない文字は下線で表示されます。表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。設定については、「BAD-NAME」をご覧ください（→ **31**）。

応用設定

設定の操作手順

1 **SETUP ボタンを押す**

2 **</> ボタンまたは ◀◀/▶▶ ボタンで変更したい項目を選ぶ**

DISPLAY

設定については、次の項目から説明しています。

3 **ENTER ボタンまたは ▶ ボタンを押す**

4 **</> ボタンまたは ◀◀/▶▶ ボタンで設定したいオプションを選ぶ**

5 **ENTER ボタンまたは ▶ ボタンを押す**

設定が完了すると、表示部に「FINISH」と表示されます。

中断する場合、**SETUP** ボタンを押してください。

各設定について

AUDIO（音声）

■ FILTER

▸ SHARP（初期値）：

この設定は最大 20kHz の帯域特性をフラットに出力します。

▸ SLOW：

この設定は、入力波形の高い再現性をもたらし、各楽器の音像定位とともに、テンポ、または音声信号の微妙なコンプレッションを再現するのに適しています。

この設定は D/A（デジタル / アナログ）変換されるフィルターの特性を切り換えることができます。

■ PHASE

▸ NORMAL（初期値）：

ディスクに記録されている波形をそのままの位相で出力します。

▸ REVERCE：

ディスクに記録されている波形を反転した位相で出力します。

アナログ出力の位相を反転するかどうかを設定できます。アンプとスピーカーから最適な音質を得られるよう、切り換えを試して、聴いてみてください。

DISPLAY（表示）

■ DISC

▸ DISPLAY（初期値）：

ディスク名を表示します。

▸ NOT：

ディスク名を表示しません。

MP3/WMA CD のとき、ディスク名を表示するかどうかを設定します。

■ FILE

▸ SCROLL（初期値）：

曲名をスクロール表示します。

▸ NOT：

曲名をスクロール表示しません。

MP3/WMA ファイルが選択されているとき、曲名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらず曲名がスクロールします（➔ 23）。

■ FOLDER

▸ SCROLL（初期値）：

フォルダ名をスクロール表示します。

▸ NOT：

フォルダ名をスクロール表示しません。

MP3/WMA フォルダが選択されているとき、フォルダ名をスクロール表示するかどうかを設定します。ただし、ナビゲーションモード時は、この設定に関わらずフォルダ名がスクロールします（➔ 23）。

■ HIDE-NUM

▸ DISABLE（初期値）：番号を表示します。

▸ ENABLE：番号を隠します。

曲名やフォルダ名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。

MP3/WMA CD をパソコンで作成した場合、通常ファイルの再生順序は決められません。ただし、MP3/WMA ファイルに番号を付けると 01、02、03 のように順番に再生されます。

■ BAD-NAME

▸ REPLACE：名前を置き換えます。

▸ NOT（初期値）：名前を置き換えません。

曲名やフォルダ名に、表示できない文字が含まれているとき、「FILE n」や「FOLDER n」（n は曲番 / フォルダ番号）という表示に置き換えて表示させます。「**NOT**」に設定した場合、表示できる文字は表示し、できない文字は下線で表示します。ID3 タグ情報については設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。

EXTRA（その他）

■ ID3-VER 1

▸READ（初期値）：
　タグ情報を読み込みます。

▸NO READ：
　タグ情報を読み込みません。

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報を読み込んで表示させるかしないかを設定します。

■ ID3-VER2

▸READ（初期値）：
　タグ情報を読み込みます。

▸NO READ：
　タグ情報を読み込みません。

ID3 Version2.2/2.3/2.4 のタグ情報を読み込んで表示させるかしないかを設定します。

■ CD-EXTRA

▸AUDIO（初期値）

▸MP3

CD-Extra ディスクの再生について音楽 CD、または MP3/WMA ファイルのどちらを再生するか設定します。

■ JOLIET

▸ISO9660

▸USE SVD（初期値）

JOLIET 形式で記録された MP3/WMA の SVD（Supplementary Volume Descriptor）データを読み込むか、ISO9660 形式として読み込むかを設定します。通常は設定を変える必要はありません。SVD は、アルファベットと数字以外に、長いファイル名 / フォルダ名や文字をサポートしています。

■ STOP-KEY

▸FOLDER

▸NAVI（初期値）

▸DISABLE

前面パネルの ■ ボタンを押したときの設定を行います。

「FOLDER」（All Folder）を選択した場合、■ ボタンを押すとオールフォルダモードになります。

「NAVI」（Navigation）を選択した場合、■ ボタンを押すとナビゲーションモードになります。

「DISABLE」を選択した場合、■ ボタンを押しても、オールフォルダモード、ナビゲーションモードにはなりません。

お知らせ

・リモコンのボタンには適用されません。

ASb（自動スタンバイ）

■ ASb（自動スタンバイ）

▸ON：自動スタンバイを有効にします。

▸OFF（初期値）：自動スタンバイを無効にします。

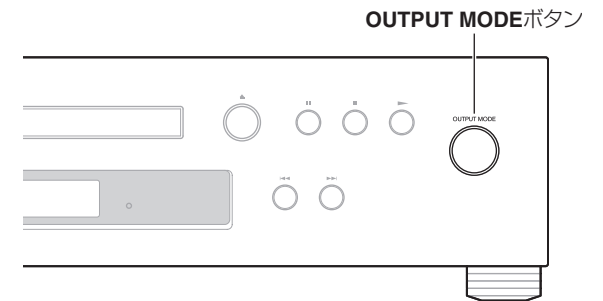
本機が再生を停止したまま、30 分間操作しないでいると、自動的にスタンバイ状態へ移行します。再生が一時停止されている場合は、移行しません。自動的にスタンバイ状態になる直前の 30 秒間、DISPLAY OFF LED が点滅します。

INITIAL

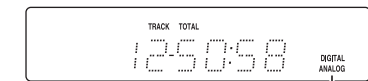
■ INITIAL

▸CANCEL：
　初期化の実行を中止します。

▸EXECUTE：
　すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

アナログ / デジタル出力を設定する

出力を DIGITAL/ANALOG、DIGITAL、ANALOG に切り換えます。

1 前面パネルの OUTPUT MODE ボタンをくり返し押す

選択中の音声出力表示が点灯します。

▸DIGITAL/ANALOG（初期値）：
　両方の出力を使用する。

▸DIGITAL：
　デジタル出力のみ使用する。
　より安定した再生を行うためにアナログ出力をオフにします。

▸ANALOG：
　アナログ出力のみ使用する。
　再生中にデジタルノイズの影響を減らすためにデジタル出力をオフにします。

困ったときは

電源

電源が入らない

・電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください（➔ 18）。
・一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。
・本機の電源が入らない場合は、電源コードを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。

電源が切れ、再度電源を入れてもまた切れる

・すべての接続を確認してください。
・本機の電源が切れる場合は、電源コードを抜いて、お買い上げ店またはオンキヨー修理窓口にご連絡ください。
・ASb（Auto（オート） Standby（スタンバイ））が作動すると、自動的にスタンバイ状態になります（➔ 32）。

音声

音声が出力されない

・すべての接続に間違いがないか確認してください（➔ 17）。
・ファイルのフォーマットがサポートされているものか確認してください（➔ 35）。
・本機はアナログ / デジタル出力を設定することができます。本機と接続機器が適切に接続され、セレクターが正しく選ばれているか確認してください。

音声の品質が悪い

・接続コードのプラグは奥まで差し込んでください。
・テレビなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような機器から離してみてください。
・通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力することがあります。
・本機は回転機器ですので、静かな環境では再生中や選曲中に CD のディスクを読み取る音が聞こえる場合があります。

本機が振動を受けると音声が途切れる

・不安定な場所や振動する場所には設置しないでください。

音声性能

・10 ～ 30 分間ウォーミングアップすると、本機の部品や内部温度が安定し、音が柔らかくなります。
・コード留めを使ってオーディオ用ピンコード、電源コード、スピーカーコードなどを束ねると音質が劣化するおそれがあります。コードを束ねないようにしてください。

ディスク再生

ディスクが再生できない

・ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください（➔ 15、22）。
・ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください（➔ 15）。
・結露しているおそれがある場合は、電源コードを抜き、3 時間以上室温で放置してからご使用ください（➔ 15）。
・規格内のディスクか確認してください（➔ 15）。
・ファイナライズしていない CD-R、CD-RW は再生することができません。

音が飛ぶ

・本機に振動が加わっていると音とびすることがあります。
・ディスクがひどく汚れていないか確認してください（➔ 15）。
・ディスクが損傷していないか確認してください。

メモリー再生に曲番号を登録できない

・メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください（➔ 26）。

再生が始まるまでに時間がかかる

・曲数の多いディスクの場合、読み込みに時間がかかることがあります。
・ディスクがひどく汚れていないか確認してください（➔ 15）。
・ディスクが損傷していないか確認してください。

ディスクの再生順序通りに再生できない

・リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。

接続機器

接続された機器から音が出ない

・出力設定が正しく選択されているか確認してください（➔ 32）。
・音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください（➔ 17）。
・接続コードのプラグは奥まで差し込んでください（➔ 17）。
・接続した入力端子と入力設定が正しいか確認してください。
・接続機器の音量が最小になっていないか確認してください。

リモコン

リモコン操作ができない

・電池の極性を間違えて挿入していないか確認してください（➔ 10）。
・新しい電池を入れてください。種類が異なる電池、新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
・リモコンと本機が離れ過ぎていないこと、リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物がないことを確認してください（➔ 10）。
・本体の受光部が直射日光やインバータータイプの蛍光灯の光に当たらないようにしてください。必要に応じて位置を変えてください。
・本体を色付きのガラス扉が付いたラックやキャビネットに設置している場合、扉が閉じているとリモコンが正常に機能しないことがあります。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CD レンタル料等）については保証対象になりません。
大事な録音をするときは、あらかじめ正しく録音できることを確認の上、録音を行ってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音や妨害ノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。そのようなときは、電源プラグを抜いて、約 5 秒後にあらためて電源プラグを差し込んでください。

本機の電源コードをコンセントから抜くときは、本機の主電源をオフにしてから抜いてください。

主な仕様

C-7000R

音声出力部

周波数特性	2Hz ～ 20kHz
SN 比	116dB
ダイナミックレンジ	100dB
全高調波歪率	0.0015%
出力電圧 / インピーダンス	
OPTICAL	− 22.5dBm
COAXIAL	0.5Vp-p/75Ω
AES/EBU	3.3Vp-p/110Ω
RCA 定格出力電圧 / インピーダンス	2.0V（rms）/330Ω

出力系統

■音声出力

デジタル	OPTICAL：1 COAXIAL：1 AES/EBU：1
アナログ	L、R

総合

電源・電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	17W
待機時消費電力	0.15W
最大外形寸法	435（幅）× 99（高さ）× 315.2（奥行）mm
質量	12.0kg
許容動作温度 / 湿度	5 ℃～ 35 ℃ /5% ～ 85%
再生可能ディスク	Audio CD、CD-R、CD-RW、MP3、WMA（CD-R、CD-RW） * ファイナライズが必要です。

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ 調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。

この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名 C-7000R
▶ できるだけ詳しい故障状況

■ オンキヨー修理窓口について

詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　(　　)
メモ：

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO®
オンキヨー株式会社
本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：コールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00〜18：00）
（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

Y1011-1

SN 29400539